

私の学生時代 / 永井肇(63) 柔道部で培った忍耐と持続力

昭和十六年、母親の勧めもあって旧制明倫中(現愛知県立明和高)に入った。体が大きかったので**柔道部**に入ったが、練習は予想以上にきつかった。

常滑から通っていたので当時、片道で一時間半かかった。寒げいこが始まると、まさに朝は朝星、夜は夜星だった。けいこが終わると、ほてった体を冷やすため、裸で雪の上に寝そべったものだ。八高(現**名大**教養部)、**名大**でも**柔道**をやり、三段までいったが、一連の部活を通じて忍耐力と持続力を身に着けることができたと思っている。医者としても、人間としても、このことが私の人生で、どれほど役立ったことか。

(同市立大学医学部教授)(当時)